



とびら

No.94

(平成30年9月議会を掲載)



— CONTENTS —

特集 ジュニア新体操×市議会 2・3 ページ

- 9月議会の概要…………… 4 ～ 5
- 常任委員会の活動…………… 6 ～ 7
- 平成 29 年度決算の事業評価 …… 8 ～ 9
- ここが知りたい！一般質問**…………… 10 ～ 23
- 議会 TOPICS …………… 24

特集

ジュニア新体操×市議会

次号の「とびら」は、
平成 31 年 2 月 1 日発行予定です

いきいき茨城ゆめ国体 2019

第74回国民体育大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ



新体操の妖精たち



ジュニア新体操 × 市議会

今回は、来年の茨城国体で「鹿嶋キッズ応援団」として演技を披露する、鉢形ジュニア新体操スポーツ少年団の指導者の方にお話しを聞かせていただきました。

に関わっている生徒は5、6人くらいだと思います。

議 子どもたちのあいさつがすばらしいと感じましたが、体操以外の指導は、されているのですか

勝ち負けではなく心の勉強をしてほしいことから、あいさつ・礼儀・返事の徹底をしています。

議 子どもたちは、練習前に体重を測っていましたか、なぜ体重を測るのですか

新体操は、芸術の世界で見た目にもかかわってくるスポーツなので、体重の増加など自己管理をして、スタイルを維持するように心がけてもらっています。

議 鉢形ジュニア新体操スポーツ少年団を立ち上げたきっかけを教えてください

きっかけは、神栖市で器械体操の指導をしていたのですが、鹿嶋市でも器械体操を習える場をつくってほしいと言われたことが始まりですね。

最初は、器械体操と考えていましたが、鹿嶋市には

設備などがないので、設備をさほど必要とはしない新体操を始めました。

議 今までに何人の子どもたちが巣立っていきましたか

280人ぐらいですかね。今年で14年目になります。現在は2人の卒業生が指導に参加してくれています。そのほかに新体操など





議 新体操クラブの
今後の展開は

次の展開は男子新体操を育てていきたいと思っています。

知り合いの方から「男子は入部できないのですか」と問い合わせがあり、県内には男子新体操クラブがない

ので男子もいいかなと思いい、今年から男子も受け入れました。茨城県内には男子新体操がないので、「この子たちがインターハイに行けるかな?」と思っています。

議 行政や市議会に要望などありますか

サッカーだけでなく、市内にはさまざまな少年団などがありますので、子どもたちが整った環境でスポーツができるようにしてほしいですね。

新体操クラブとしては、練習のとき、リボンやフープなどが天井に引っかかってしまうので、天井の高い体育館がほしいです。また、体育館の床の張りかえとまちづくりセンターの体育館にフロアーマットをお願いしたいですね。

議 ありがとうございます

活動日：毎週土曜日 9:00～12:00
月・水曜日 16:30～19:00

対象：年長～小学4年生くらいまで
年会費：3,000円

場所：鉢形小学校体育館

会員募集

申し込み
問い合わせ

鉢形ジュニア新体操スポーツ少年団
E-Mail hachigatajr rg@mail.com

しもそこがわ
下曾小川さん

9月議会

こんなことが決まりました

8月31日～9月21日の22日間、平成30年第3回定例会が開催されました。市長から17件の議案が提出されたほか、委員会から1件の意見書案、議員から2件の議案、議長から1件の発議案が提出されました。議決結果は次のとおりです。

<市長から提出された議案>

議案番号	議 案 名	結 果
議案第64号	平成30年度鹿嶋市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第65号	平成30年度鹿嶋市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第66号	平成30年度鹿嶋市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第67号	平成30年度鹿嶋市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第68号	平成30年度鹿嶋市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第69号	鹿行広域事務組合理約の変更について	原案可決
議案第70号	鹿行広域事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について	原案可決
議案第71号	鹿嶋市教育委員会教育長の任命について	原案同意
議案第72号	鹿嶋市教育委員会委員の任命について	原案同意
議案第73号	鹿嶋市教育委員会委員の任命について	原案同意
議案第74号	市道路線の認定について	原案可決
議案第75号	市道路線の変更について	原案可決
議案第76号	損害賠償の額を定め、和解することについて	原案可決
議案第77号	高松緑地体育館解体撤去工事請負契約について	原案可決
報告第5号	専決処分について（平成30年度鹿嶋市一般会計補正予算（第2号））	原案承認
認定第1号	平成29年度鹿嶋市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
認定第2号	平成29年度鹿嶋市水道事業会計決算認定について	原案認定
認定第3号	平成29年度鹿嶋市大野区域水道事業会計決算認定について	原案認定

<市議会へ提出された請願>

請願番号	議 案 名	結 果
平成30年 請願第2号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	採 択

<委員会が提出した議案>

意見書番号	議 案 名	結 果
意見書第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書	原案可決

<議員が提出した議案>

議案番号	議 案 名	結 果
第1号議案	「鹿嶋市自治基本条例策定について」の提言	原案否決
第2号議案	鹿嶋市議会議員定数条例の一部を改正する条例	審議未了

	議 案 名	結 果
議長発議	宮中賑わい創出事業検討協議会の設置について	原案可決

意見書を提出しました

■教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書

学校現場における課題が複雑化・困難化する中で子どもたちの豊かな学びを実現するためには、教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが不可欠です。そのためには教職員定数改善などの施策が最重要課題となっています。

国会及び政府においては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるようにするために、「きめ細かな教育の実現のために少人数学級を推進すること」、「教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持すること」を強く要請し、意見書を提出します。

[提出先]

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

第2号議案が審議未了により廃案

第2号議案 鹿嶋市議会議員定数条例の一部を改正する条例

本市の議員定数 22 人を平成 31 年 4 月に執行する一般選挙から 20 人とするもの。

【経過】

- ▼議会最終日、第2号議案を議題とする前に、休憩に入った。
- ▼休憩中、議長より辞職願が提出された。
- ▼副議長が本会議を再開。会議時間の延長を宣告後、議長の辞職の件を議題とし、採決の結果、全会一致により否決（辞職不許可）した。
- ▼否決により議長が戻り会議を再開。直後に暫時休憩に入った。
- ▼その後、午前0時まで会議が再開されず流会となり、第2号議案は審議未了により廃案となった。

にぎ 宮中賑わい創出事業検討協議会が設置されました

9月定例会において、宮中賑わい創出事業について、今後さらに執行部との意見交換を充実するため、宮中賑わい創出事業検討協議会が設置されました。

- 委員長：根崎 彰 副委員長：栗林京子
- 委員：飯塚俊雄・内田政文・田口 茂・坂本仙一・立原弘一・河津 亨・篠塚洋三・小池みよ子・山口哲秀・出頭克明・宇田一男・樋口富士男・菅谷 毅・川井宏子・池田法子・小松崎敏紀・笹沼康弘
- オブザーバー：池田芳範・西塚保男

議員賛否一覧表

賛否が分かれた議案 と 議員(会派)の賛否結果	公明かしま		無所属	日本共産党 鹿嶋市議団		幹 会			是々非々の会		未来かしま							副議長			
	山口哲秀	樋口富士男	池田法子	出頭克明	立原弘一	川井宏子	宇田一男	根崎 彰	菅谷 毅	河津 亨	田口 茂	篠塚洋三	飯塚俊雄	内田政文	坂本仙一	小池みよ子	栗林京子	小松崎敏紀	笹沼康弘	西塚保男	
議案第 69 号 鹿行広域事務組合規約の変更について	△	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 70 号 鹿行広域事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について	△	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 71 号 鹿嶋市教育委員会教育長の任命について	○	○	○	×	×	×	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第 1 号 平成 29 年度鹿嶋市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 1 号議案 「鹿嶋市自治基本条例策定について」の提言	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○

賛成=○、反対=×、棄権=△、欠席=ー ※池田芳範議長は、採決に加わりません。

予 算 決 算 常 任 委 員 会

宮中地区賑わい創出事業については議会や市民と合意形成を

予算決算常任委員会では、5件の補正予算、1件の専決処分の報告、3件の決算認定を審査しました。

主な質疑

■議案第64号 平成30年度鹿嶋市一般会計補正予算（第3号）

問 学校プール等解体撤去事業における除却債の活用の方方は。

答 世代間の負担の平準化という起債の考え方になじまないこの見方もあるが、屋内温水プールの建設とセットと考え除却債を活用した。

【賛成討論】

除却債の活用は、将来世代の負担を考慮しつつ、財政的裏づけをもって判断すべき。

■認定第1号 平成29年度鹿嶋市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について

問 宮中地区賑わい創出事業について、全議員に報告されていない情報があったか。

答 鹿島神宮で取り壊した宝物館の建設に併せて交流センターを含めた事業計画を進めていく方向性があるとのこと。

【賛成討論】

将来へ向かって有効な施設となるよう議論をしながら進めてほしい。

【反対討論】

議会や市民との十分な合意形成を行うべき。

採決の結果、認定第1号については、賛成多数をもって、その他の議案については全員賛成で、原案のとおり可決すべきと決定しました。

採決の結果、認定第1号については、賛成多数をもって、その他の議案については全員賛成で、原案のとおり可決すべきと決定しました。

総 務 生 活 委 員 会

鹿行広域事務組合に関する議案を審査

総務生活委員会では、2件の議案を審査しました。

主な質疑

■議案第69号 鹿行広域事務組合規約の変更について

問 鹿行広域事務組合で共同処理する事務から広域一般廃棄物（し尿を除く）処理施設の建設に関するものを除くため、規約の一部を変更するもの。

意見 一般廃棄物処理事業も含めた広域行政のあり方について将来を見据え、今後十分な検討が必要。

【賛成討論】

規約の変更に事務手続き上必要であるため妥当。

【反対討論】

構成市の議会における全会一致での否決を尊重し、賛成しかねる。

問 鉾田市議会で全会一致で否決された中、鹿嶋市での審議の必要性はあるのか。

答 今回、鹿行広域事務組合からの依頼を元に議案を提出している。市としては、依頼に基づき審議をお願いしたい。

問 茨城県への申請の効力及び必要性は。

答 地方自治法により、規約の変更等について

採決の結果、議案第69号及び議案第70号は、賛成多数で原案のとおり可決すべきであると決定しました。

※鹿行広域事務組合とは鹿行5市が共同して、さまざまな事務事業を行う組合

小学校及び幼稚園の エアコン整備状況を調査

文教厚生委員会では、議案2件、請願1件を審査しました。なお審査に先立ち、三笠小学校及び三笠幼稚園のエアコン整備状況の現地調査を行いました。

主な質疑

■議案第77号 高松緑地体育館解体撤去工事請負契約について

問 施設解体時、アスベストを取り扱うことになると思うが、そういった施工技術を業者は持っているのか。

答 アスベストについては、専門業者を含め、必要な措置を取ることとなっている。

問 施設解体後、国体の駐車場として利用することだが、その後は。

答 高松緑地の温水プールが改修しなければなら



▲エアコンの設置状況について説明を受ける

ない状況にあり、整備箇所として第一候補となっている。

■議案第76号 損害賠償の額を定め、和解することについて

【賛成討論】

同様の事案が二度と起こらないように市として対応してほしい。

採決の結果、全ての議案について全員賛成で、原案のとおり可決すべきであると決定しました。

また、請願についても採択するべきであると決定しました。

都 市 経 済 委 員 会

市道2路線を認定、1路線を変更

都市経済委員会では、市道路線の認定と市道路線の変更について審査しました。

■議案第74号 市道路線の認定について

市道5692号線及び市道8633号線を市道として認定しようとするもの。

主な質疑

■議案第75号 市道路線の変更について

市道8623号線の延長、幅員、終点を変更しようとするもの。

問 変更前の市道8623号線の延長部分の一部は施設管理課の前は政策秘書課が管理していたということだが、どういうことか。

答 今回、開発行為があった土地はもともと代替地で、平成23年当時は開発公社から所管を引き継いでいた

企画課（現政策秘書課）が管理をしていたものである。採決の結果、いずれの議案も全員賛成で原案のとおり可決すべきであると決定しました。

路線名	事項	番地先の表示	延長・幅員
議案第74号【認定路線】			
5692号線	起点	須賀字兵ノ上1244番15地先	104.31m
	終点	須賀字兵ノ上1244番12地先	6.00m～10.27m
8633号線	起点	平井字鹿島道南1343番34地先	128.73m
	終点	平井字鹿島道南1343番50地先	6.00m～10.51m
議案第75号【変更路線(変更後)】			
8623号線	起点	平井字鹿島道南1343番1地先	262.14m
	終点	平井字鹿島道南1343番50地先	5.00m～10.60m

しました

その結果をお知らせします。

【決算評価】

A…十分評価できる B…やや評価できる C…あまり評価できない D…全く評価できない

【今後の方向性】

拡充 事業内容をさらに充実して継続

継続 現在の水準で継続

改善 改善・効率化して継続

縮小 内容・手法等を見直し縮小して継続

休止 事業を休止

廃止 事業を廃止

にぎ 宮中地区賑わい創出事業

776万7000円

改善

評価 C 地元住民と商業者との連携を図り中心市街地活性化基本計画を策定し、ハード・ソフトの両面から賑わい創出を目指す事業の必要性は理解できる。しかし、平成29年度末に首長自らの政治的判断により、中核機能の歴史資料館建設が白紙となり、効率的な事業が実施されていない。

改善 内閣府の助言を解決し事業の方向性やスケジュールを明確にするとともに、事業を精査しながら進めるよう改善すべき。また、地権者を含めた周辺住民の意見を集約し、市民全体の合意形成に努めるべきであることから改善とする。



◀現在の鹿島神宮門前

行政委員経費

2318万3000円

継続

評価 B 地域住民の自治会への加入促進は重要であり加入率が減少している中、先進事例の取り組みを進めている点は評価できる。

継続 行政は自治会の加入率促進の取り組みだけではなく、関係機関と連携のもと、自治会の自主防災組織の充実や自治活動を担う人材育成にも支援が必要である。また、行政文書は在住者全戸へ配布するように努めるべきであることから継続とする。



▲年に2回開かれる定例会の様子

観光施設管理費

1043万7000円

継続

評価 B トイレなどが必要な場所に設置されており有効性がある。また、既存施設を有効に活用しており、所有形態に応じて効率的に管理されている。

継続 防犯対策等必要に応じて検討願いたい。駅前の観光施設については、補修すべき箇所が見受けられるため対策の検討が必要である。施設全体の管理状況としては特に問題がないので、現行の管理体制を維持すべきことから継続とする。



◀「鹿嶋神の道」中継地点に設置された猿田集会所トイレ

し尿処理施設管理経費

1億3232万4000円

改善

評価 C 公共水域の水質保全と資源循環型社会の構築を図るための処理施設の運転及び維持管理を行う経費であるが、現在、乾燥設備の故障により汚泥の堆肥化が困難な状況にあり、補修コストが高額であるため脱水汚泥処理は外部に委託している。今後、脱水汚泥の焼却処分を検討していることから、本来の目的は達成できていない。

改善 定期点検を通じ適切な管理を行い、早急に資源循環型社会の構築に向けた処理に取り組み、し尿処理だけでなく下水汚泥の処理を含めた将来構想を検討すべきことから改善とする。



◀し尿処理施設を総務生活文科会が視察

8事業を抽出し評価

予算決算常任委員会の各分科会では、平成29年度の決算審査として、事業の評価を行いました。

特定健康診査等事業

4567万7000円

B 拡充

評価 B 本事業により自らが生活習慣を改善し継続的な治療につなげ、生活習慣病の発症予防・重症化予防をすることができれば、市民の健康促進に大変有効である。しかし、受診率は低迷している。

拡充 より多くの方に受診してもらえるよう、周知方法を工夫しながら受診率向上に取り組むべき。専門職の人材確保ができれば、保健指導対象者に訪問による指導をきめ細やかに行うことが可能となることから拡充とする。



◀生活習慣病の兆しをいち早く発見するための特定健康診査

広域観光対策事業

1141万4000円

B 継続

評価 B 民間活力を取り入れている点は、必要かつ有効であると評価できる。しかし、鹿行5市の協力体制のもと具体的な事業も盛り込まれはているが、まだ計画段階の事業も多く十分に評価できるとは言えない。

継続 民間企業のための事業ではなく、鹿行5市ホームタウンに還元されるべき事業であることを意識した事業展開を図るべき。地方創生推進交付金の交付終了後は、自立運営が可能となるよう事業を計画的に進めることで継続とする。



◀地域全体の観光マネジメントを一本化するため鹿行DMOが立ち上がり活動を行っている

生活困窮者自立支援事業

222万6000円

C 拡充

評価 C 要因が複雑に絡み合う生活困窮者の相談は年々増加しており、さまざまな角度から支援していく本事業は今後ますます必要とされる。しかし、予算が少なく幅広い事業展開ができていない。

拡充 高齢者や障がい者、児童など分野の異なる制度をワンストップ型で対応するよう望む。既に実施している「自立相談支援事業」と「住宅確保給付事業」に加えて、今後は「こどもの学習支援事業」の拡充を図り、さらには「就労準備支援事業」や「家計相談支援事業」を早期に取り組むべきことから拡充とする。



定住促進事業

2035万円

A 継続

評価 A 関係機関等の協力を得ながら、PR活動などの周知も図られており、効率的である。また、市民の関心も高く、事業の実績もあり効果的な事業である。

継続 近隣自治体でも実施している事業であるが、より効果的なPR活動を行うなど定住促進に努めてほしいことから継続とする。



▲ふるさと回帰フェアでの移住相談

一般質問は、私たちの生活にかかわりの深い事柄について質問するものです。掲載した内容の詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「インターネット中継」または「録音中継」をご利用ください。



このQRコードまたは各議員の顔写真下のQRコードから一般質問の映像がご覧いただけます。



かわい ひろこ 議員
川井 宏子
〔発言時間＝90分〕



Q 「脱原発をめざす首長会議」に錦織市長の参加を要望する

川井

全国の首長、元首長100名が参加する「脱原発をめざす首長会議」が2012年に設立され、県内でも9名が参加しており、国会議員河野太郎氏の名前も明記されている。ぜひ、錦織市長にも参加していただきたいが、市長の考えは。

A 個別の団体等に参加する考えはない

市長

国では安全最優先、資源自給率、環境適合、国民負担抑制の原則に基づきエネルギー政策を決定している。東海第2原発を含め原発の再稼働等は、

Q 生活保護受給者に夏季の電気代補助を要望する

川井

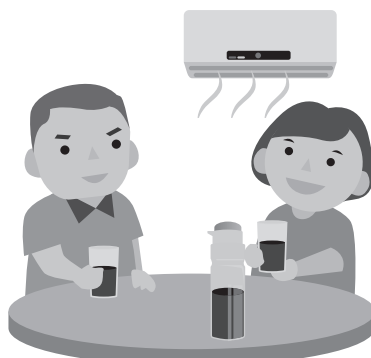
国の進める社会保障改革により社会保障費は5年間で3・45兆円削減された。医療・介護・年金・生活保護などあらゆる分野で削り込みがされ、全国的に困窮世帯が増えている。北海道では生活保護受給者が電気を止められ、熱中症による脱水症から亡くなるという痛ましい事故が発生している。鹿嶋市において冷暖房機使用時期の電気代補助を要望するが、いかがか。

A 生活保護制度上夏季電気代は設定なし。県担当者会議等で意見を伝える

健康福祉部長

生活保護世帯については定期的にケースワーカーが訪問し、健康状態を把握した上で、必要に応じ生活福祉資金貸付

制度を活用したエアコン設置を助言するなどの支援を行っている。冷暖房機使用時期の生活保護費は、11月から3月までは冬季加算として暖房代が支給されているが、夏季の冷房代は制度上設定されていない。夏季の厳しい暑さにおける生活実態を把握し、県の担当者会議等で意見を伝えたい。



「こんな質問もありました」

- ① 特別支援学校について
- ② 介護保険料滞納による差し押さえについて
- ③ 放課後デイサービスの報酬改定に伴う事業所への影響について
- ④ 平和大使派遣について

ここが知りたい！ 一般質問

Q 鹿嶋市を含めた鹿行保健医療圏の現状をどう考えているのか

宇田 市長公約の5つの鹿嶋力の福祉力の中に、医師確保・訪問診療などの地域医療体制の強化が掲げられているが、具体的な施策を伺う。

A 医師確保対策の継続と在宅医療・介護の連携推進事業に注力

市長 地域医療体制の強化については、県及び鹿行南部地域の各市と連携し、病院群輪番制事業や夜間初期救急センター運営事業等、継続的に地域医療体制強化のために取り組んでいる。ま



うだ かずお
宇田 一男 議員
〔発言時間＝60分〕

た医師確保については、平成22年から平成29年までの8年間において、24名の常勤医師が採用され、うち17名が現在も市内医療機関で活躍されているなど、着実に医師確保の定着が図られている。訪問診療を含めた在宅医療についても、地域包括ケアシステムの構築の軸の1つである在宅医療・介護の連携推進事業に注力したい。

Q 医師確保事業への市税投入は避けられないのか

宇田 市民の生命を守るために、市税投入はしかたがないことと思っはいるが、人口減少もあり、今後一層財政が厳しくなる中、医師確保事業への市税投入は避けられないのか市の見解を伺う。

A 体制整備を図っている医療機関に対し支援は必要不可欠である

健康福祉部長 鹿行地域の医療体制の現状から、医師をはじめとする医療資源の確保に関し、最大限の努力により体制整備を図って

いる医療機関に対して支援を行うことは、必要不可欠と考えている。

Q 今後市の独自の事業に変化はあるのか

宇田 市では、既に医師確保や地域医療充実のための看護学校への補助など、さまざまな市独自の事業を行っているが、済生会・労災病院再編統合などの環境変化や県の医師不足緊急対策行動宣言の政策が提示されたこともあり、今後の市独自の事業への変化はあるのか伺う。

A 医師確保事業などを継続しながら医療体制の強化を図る

健康福祉部長 県における医療政策や済生会・労災病院再編統合という医療環境の転換の動向に注視しながら、現在実施している二次救急病院運営費補助事業、医師確保事業等を継続して取り組み、医療体制の強化を図っていく。

ここが知りたい！ 一般質問



こいけ 小池 みよ子 議員
〔発言時間＝60分〕



Q 災害時における災害情報の周知方法をどう考えているのか

小池 災害時における市民への災害情報の周知方法と、防災無線と連携したFMかしまのスポット放送を活用した周知方法を提案するが、市の考えを伺う。

A 情報伝達の充実を図りさらなる連携の強化に努める

市民生活部長 FMかしまを利用した防国から配信されるJアラートがFMかしまの放送に強制的に割り込んで放送がされる仕組みを構築しているが、その他の通常の防災無線については、機械的に連動した

仕組みの構築は現時点でされていない。今後のFMかしまの活用策として、防災行政無線の一般放送の機械的な自動連携までは、経費的な面もあり現時点では想定していないが、情報伝達手段の充実を図り、さらなる連携強化に努めていく。

Q 市ではごみ出し困難家庭への戸別回収について検討したことはあるのか

小池 ごみ出し困難家庭への戸別回収の実施について数回提案しているが、市で検討されてきているのか、再度、市の考えを伺う。

A 日常生活支援を含めて検討していくことが重要

市民生活部長 市では、さまざまな観点からごみ出し支援を検討してきたが、ごみ出し困難家庭においては、日常生活支援を含めて検討していくことが重要だと考えて、今後についても地域における共助体制の状況を見極めつつ支援のあり方を探っていく。

Q 県下ワースト4位と言われる市立図書館の予算を認識しているのか

小池 鹿嶋市の図書館の資料代が県下ワースト4位である。この少ない予算の状況でいいのか市の考えを伺う。

A 今後計画的な予算確保に努めていく

教育部長 市立図書館では、雑誌スポンサー制度の導入、県内図書館をはじめとして、国立図書館・全国の図書館から借り入れをする相互制貸借制度を活用し、市民の要望に応えられるように努力してきたところである。また平成19年度から進めてきた学校図書館の整備も一段落し、平成31年度からは計画的に予算の増額の確保に努めていく。



ここが知りたい！ 一般質問



いけだ のりこ
池田 法子 議員

〔発言時間＝60分〕

Q 乳児のための災害備蓄品
についての考えは

池田

乳幼児のための災害備蓄品として、内容を検討して欲しいものが3点ある。その3点とは、水分補給のための乳幼児用の果汁や麦茶、2歳くらいまでのお子さんのための離乳食、お湯がなくてもすぐ飲める液体ミルクである。緊急事態において乳幼児の命をつなぐための最低限備える必要がある3点の備蓄に関して市の考えを伺う。

A 液体ミルクの必要性は非常に高いものと判断している

市民生活部長

災害時の断水や停電など、さまざまなリスクを想定すると、液体ミルクの今後の必要性というのは非常に高いものであると判断できることから、月齢を配慮した離乳食などを含め、今後の市販の状況などにも注意しながら、緊急分の確保に向けて検討していく。



Q ワクチン再接種の助成は

池田

急性リンパ性白血病や小児がんなどにかかってしまったお子さんは、骨髄移植や抗がん剤治療を行ったことにより、予防接種でできた抗体が失われてしまう場合があります、再接種となる

と全額自費で20万円ほどの費用がかかると言われている。市では、このようなお子さんに対して費用面でサポート体制をつくることは可能か伺う。

A 再接種の必要性は大変重要と考えている

健康福祉部長

移植後に予防接種を再接種することにより、感染症の発症予防や症状の軽減が期待できると思われることから、再接種の必要性はあると考えている。再接種の費用を助成する動きは全国的にも徐々に拡大してきており、県内では2市が今年度から助成を開始している。本市においても、実施している自治体等から情報収集し、助成が必要なお子さんに対して適切な対応ができるよう、実施に向けて検討していく。

〔こんな質問もありました〕

● 幼児教育無償化を受けての鹿嶋市の対応について
● 児童虐待防止に向けての市の取り組みについて

ここが知りたい！ 一般質問



くりはやし きょうこ
栗林 京子 議員
〔発言時間＝60分〕



Q 市政懇談会ではどのような意見が寄せられたのか

栗林

中心市街地の活性化基本計画の素案ができた後に、再度、市民ニーズや民意をくみ取るため、各公民館で市政懇談会を開催したが、市民からどのような意見が寄せられたのか。

A 肯定的な意見が多かったと受け止めている

市長

市政懇談会については、合計340名の市民に参加いただき、ご意見をいただいた。白紙とした施設が単なる歴史館ではなく、交流機能を伴った複合施設であることを理解していただ

た上で、市民からは「建設を前向きに進めてもらいたい」との肯定的な意見が多かったと受け止めている。

政策企画部長

建設にかかる総事業費や維持管理費、観光客数や経済効果、計画していた施設の管理、運営者、収支の見通しなどの質問があった。また意見としては、「将来負の遺産とならないように進めてほしい」、「歴史館だけではないということをも市民は理解していない」、「活性化のシンボルとしてコンセンサスを得て前向きに進めてほしい」などの意見があった。

Q 鹿嶋市公認マスケットキャラクターの活動などについて

栗林

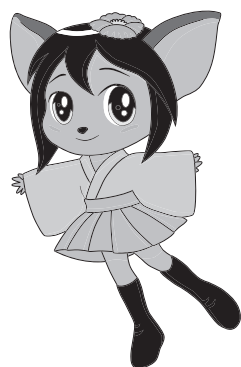
鹿嶋市公認マスケットキャラクター「ナスカちゃん」について、活動範囲とコスチュームの見直しについて尋ねる。

A 各種イベントに参加しアピールに取り組んでいる

経済振興部長

今後行われる国体・オリパラ関連のイベントの際

にも「ナスカちゃん」を活用した鹿嶋市のアピールをしていく考えである。コスチュームについては、市の緑豊かな自然と海や湖の恩恵をイメージして緑と水色の衣装を着用しているが、サッカー関連のイベントの際には、サポーターの証である12番の背番号をつけた赤いTシャツを着用している。その他のイベントについても内容に応じて赤いTシャツの着用機会の増加を検討するとともに、アントラーズのユニフォーム着用についてもアントラーズFCに相談し、対応を検討していく。



▲ 鹿嶋市公認キャラクター「ナスカちゃん」

【こんな質問もありました】

④ アントラーズマンホールのPR効果について

⑤ 幹線道路における植栽について

ここが知りたい! 一般質問



しゅつとう かつあき
出頭 克明 議員

(発言時間 = 90分)

Q 宮中賑わい創出事業に関し白紙となった歴史資料館のライフサイクルコストについて伺う

宮中賑わい創出事業に関し、歴史資料館の白紙となったライフサイクルコストについて伺う。

出頭

白紙となった歴史資料館の維持管理費については、人件費や光熱費を主な経費として説明しているが、減価償却費・修繕費・大規模改修費・解体費などを含めたライフサイクルコストの説明はしていないことから、市民説明に正確性を欠いているのではないかと。そこで、ライフサイクルコストを加えた正確な維持管理コストを伺う。

A ライフサイクルコストの説明が必要なら今後適切に対応

政策企画部長

歴史資料館計画は、施設イメージが市民によく伝わっていないとの認識で白紙とする判断がなされた。ライフサイクルコストとは、構造物などの企画設計に始まり、竣工、運用を経て修繕、耐用年数の経過により解体処分までを建物の生涯と定義し、その全期間に要する費用を意味する。しかし、建物等の使用期間が長いほど、誤差が生じる可能性が高くなるという欠点も指摘されていることから、市ではこれまでも建設に係るインシヤルコストと年間の維持管理に係るランニングコストをもって説明を行うことを一般的としてきた。今後、白紙となった施設整備についての意見交換会を予定しているため、ライフサイクルコストについての説明が必要と判断されれば適切に対応していく。

Q 宮中賑わい創出事業については住民投票をやったらい

では住民投票をやったらい

出頭

この宮中賑わい創出事業については、住民投票をやったらいのではないかと



が、市の意見を伺いたい。

A 住民投票に馴染む内容ではないと考える

副市長

今回の宮中賑わい創出事業は、懇談会あるいは意見交換会等々をきめ細やかに行うことによって問題の解決を図っていききたい。住民投票のマル・バツでは、市民の皆様の詳細な意見を把握できないことから、住民投票に馴染む内容ではないと考える。

ここが知りたい！ 一般質問



すがや つよし
菅谷 毅 議員
〔発言時間＝60分〕



Q カシマサッカースタジアム 周辺のまちづくりを

菅谷

過去にカシマサッカースタジアム周辺地区は区画整理事業計画などを検討した経緯がある。スタジアム駅からスタジアム周辺、下津・平井海水浴場にかけての地域ポテンシャルを生かすと同時に、スタジアム駅の旅客駅を進め民間活力によるスポーツと観光を連係させた「スポーツの産業化」を進めるべきと思うが、市の見解を伺う。

A 第3次鹿嶋市総合計画後期基本計画に位置づけたスポーツによる産業の創出を推進

政策企画部長

後期基本計画に基づき、アントラーズホームゲームや各種スポーツ大会の来訪者の観光への誘導や特産品の販売等を行っているほか、アントラーズホームタウンDMOによるスポーツと観光との連携による経済活性化に取り組んでいる。スタジアム周辺は市街化調整区域であることから、都市的土地利用が制限されているが、事業を展開する民間企業が現れば上位計画との整合を図り積極的な支援に努めたい。スタジアム駅の常時旅客駅はJRの基準に合わないことから大変難しいとの回答を得ているが、今後も粘り強く要望活動を継続する。

Q 介護施設整備及び保育料 等の無償化について

菅谷

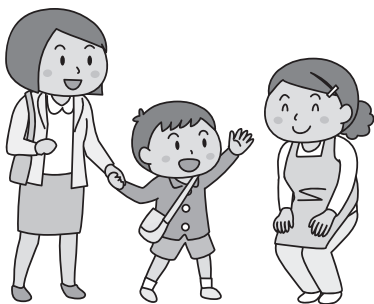
都市部では特別養護老人ホームなどの施設整備が計画どおり進んでいないとの報道があるが、鹿嶋市は計画どおりに進んでいるのか。また来年10月に実施される保育料・幼児教育無償化の内容と無償化に係る自治体の財政負担について伺う。

A

介護需要増加は地域密着型介護施設等に対応、保育料等無償化は来年10月予定

健康福祉部長

介護需要増加見込み分は、地域密着型介護老人施設29床、認知症対応型共同生活介護18床を第7期介護保険事業計画に盛り込んでいる。保育料等無償化は、幼稚園・保育所・認定こども園に通う3歳から5歳までのすべてのこども及び住民税非課税世帯の0歳から2歳の園児が無償化の対象となる。実施予定時期は来年10月から。民間施設に係る無償化分による市の財政負担はこれまで同様4分の1と聞いている。まだ閣議決定されたというところまで、詳細部分は示されていない。



ここが知りたい! 一般質問



たぐち しげる
田口 茂 議員
〔発言時間＝90分〕

Q

小規模農業経営者に対する支援・育成が欠けているのでは

田口

鹿島開発は「農工商全」「ローガンに始まった。農工商全の現況は、工業生産高約2兆円に対し、農業産出額は約200億円で100分の1である。農工商全の集大成として市独自の農業改革が求められるが、その対策として農地保全、環境保全対策も含め小規模農家に対する支援、育成が欠けているのではないか。市の見解を求めます。

A

生産者の実態に合わせた育成支援に努める

経済振興部長

農家の支援策として、認定農業者制度、家族経営協定制度の活用その他、転作奨励補助金、水稲の病害虫防除に対する費用負担、特別栽培農産物の生産支援、鹿嶋市産米の消費拡大を図る地産地消推進事業などの支援を行っている。いずれも営農規模にかかわらず、全ての農家が対象となる。今後も農業公社やJAと連携し、生産者の実態に合わせた育成支援に努めたい。

Q

耕作放棄地活用対策を含め、オリーブの栽培を考えるとはどうか

田口

オリーブは植樹後5年ほどで実がなり、10a当たり60万円ほどの収入が見込まれ、国からのさまざまな支援も用意されている。手間がかかるのは剪定作業と6月から8月にかけての毛虫対策である。80haといわれる耕作放棄地を活用し、家族農業でも可能なオリーブの栽培を推進してはどうかと考えるが、市の見解を伺う。

A

提案については気候、栽培条件などを検証し調査研究する

経済振興部長

関東近県でも耕作放棄地を活性化して、オリーブの栽培を行っている事例がある。農林水産省もオリーブ栽培は耕作地活用、6次産業化、農業と福祉、観光との連携などさまざまな波及効果があるとして栽培に関する支援策を設定している。大変ありがたい提案であり、今後において気候や条件など、本市での栽培に適しているかどうかを検証するとともに、他市の取り組み等を参考にしながら、対応を検討していきたい。



ここが知りたい！ 一般質問



ひぐち ふじお
樋口 富士男 議員
〔発言時間＝60分〕



Q 本市のSDGsの取り組みについて

樋口

SDGsの理念と推進の必要性を多くの人に理解していただくには、自治体がリーダーシップを持って対応することが必要である。市においても総合計画の項目にSDGsのどの目標が該当するかをきちんと明記すべきと考えるが今後の対応を伺う。

A 第4次鹿嶋市総合計画の策定において対応していく

市長

現行の第3次鹿嶋市総合計画後期基本計画でも、SDGsとの関連は明記されていないが、その理念に合致する施策は多数盛り込まれている。第4次

鹿嶋市総合計画策定の際には、SDGsの理念や考え方を盛り込むことができるよう調整していく。

Q フードバンクの現状について

樋口

フードバンクがスタートしたが、利用頻度やどのような品目があるのか。また寄付の啓発はどのようにしているのか伺う。

A 市民への認知度が不十分であるため広く啓発活動に努める

市民生活部長

利用状況は、平成29年が65件、平成30年8月まで22件。お米やインスタント食品、缶詰などの食糧支援を実施している。市民への認知度が十分高まっている。市民へのご協力もあって、鹿嶋まつりで「きずなボックス」を設置するほか、広報紙などを通じ、広く啓発活動に努めていく。



▲総合福祉センターに設置している「きずなBOX」

Q 食品ロス削減に向けた対策は

樋口

我が国において、本来食べられるにもかかわらず廃棄される食品ロスは年間約621万トン発生しており、339万トンが食品産業から発生している。平成28年、平成29年にも食品ロス削減について質問しているが、その後の普及啓発活動の進み方や飲食店等からアクションはあるのか伺う。

A 食品ロス削減の普及啓発活動を実施

市民生活部長

平成29年に事業者向けの啓発チラシを配布し、3010運動の周知、小盛りメニューの提供、材料の使い切りなど外食における食品ロス削減への協力をお願いしている。また、ホームページや広報「かしま」等に食品ロス削減に関する案内を掲載することや、市民・事業者・行政がそれぞれの立場で主体的に取り組むことができるよう、普及啓発活動に継続して取り組んでいく。

ここが知りたい! 一般質問

Q 海ごみの現状と今後の対応は

小松崎

国際的な海ごみの調査機関と連携し、毎年9月に海ごみ調査を行っているが、鹿嶋市の海岸に漂流するごみは、例年圧倒的にプラスチック破片が多いだけでなく、海外の漁船から捨てられているとみられる漁具がある。また川から流れ出るごみも多く漂流していることも推測されている。世界的にも海洋中のプラスチックごみが問題になっており、海岸を地域の資産として持つ鹿嶋市として、どのように考えているのか伺う。

A 海ごみ問題については深刻な問題であると認識している

市長

例年7月には、海岸地域の住民をはじめ鹿嶋の海岸を守る会など多くの団体の皆様から海岸の美化にご協力いただいている。今後も市民・各種団体・企業の協力を得ながら国や県の施策に合わせ、海岸における良好な景観と環境の保全に努め、プラスチックの使用削減やごみの適正処理などの啓発活動に取り組んでいく。

**市民生活
活部長**

県からの補助金を活用し、市民団体や一般市民の方により清掃いただいた海岸ごみの回収を行っている。また河川などへのごみのポイ捨て防止の啓発等を行っている。今後も、県や関係市町村と連携し、有効な対処方法や取り組み、先進的事例を調査研究しながら海岸の美化に向けて活動を継続していく。

小松崎

市では、昭和40～50年代に多くの公共施設が建設された。それらの建てかえ更新が同じような時期に来ると思うがどのように考えているのか伺う。

A 事後保全型から予防保全型の修繕に切り替えて長寿命化を図っていく

**政策企
画部長**

公共施設等総合管理計画の個別施設計画では、計画的な予防保全を行いながら長寿命化を図る施設として、77施設を選定している。このうち一部の施設については、機械整備も含めて、不具合が発生してから修繕を行うという事後保全型の修繕となっており、このサイクルでは修繕費の増大や、場合によっては利用者に危険が及ぶという可能性も考えられる。今般これを改め、計画に位置づけた77施設すべてを予防保全型の修繕に切りかえるために、速やかに長寿命化スケジュールを立てていく。

「こんな質問もありました」

①鹿嶋の文化財の保存状態について
②文化資産を活かしたまちづくりについて



こまつき としのり
小松崎 敏紀 議員

〔発言時間＝60分〕



Q 公共施設のライフサイクルをどのようになっているのか

ここが知りたい！ 一般質問



やまぐち てつひで
山口 哲秀 議員
〔発言時間＝60分〕



Q 防災計画の見直しの視点とその対策は

山口

全国各地で災害が相次ぎ、人の命を守る防災対策の強化が重要である。鹿嶋市地域防災計画の見直しに当たり、外国人旅行者や女性、障がい者らに配慮した防災対策を盛り込む必要があると考えるが市の見解を伺う。

A 被災を最小化する対策を進める

市長

ハード・ソフトのさまざまな対策を組み合わせて地域防災計画を定期的に見直しながら、災害時の被災を最小化する対策を進めていきたいと考えている。

Q タイムライン（防災行動計画）の進捗は

山口

鬼怒川堤防が決壊した常総市は、多くの住民が逃げ遅れた反省を踏まえ、逃げ遅れゼロをテーマに掲げたタイムラインをつくり、全市民への普及を目指している。本市でも、タイムラインの素案をつくっているが、進捗について伺う。

A タイムラインを早期に策定しよう

市民生活部長

タイムライン（防災行動計画）の策定については、市における素案は既に作成している状況であり、さまざまな関係機関が参加する鹿嶋市防災会議での審議を経て早期に策定していく。

Q 自主防災組織の活性化を

山口

自主防災組織の活性化を図るため防災士の養成として、県内でも防災士の資格取得費用の支援を3割の自治体が支援している。本市でも、防災士の育成を図るため支援すべきと考える。また市民の方々がいばらき防災大学を受講できるように本市での開催を提案する。

A いばらき防災大学の地元開催を積極的に要請していく

市民生活部長

現在本市には34名の防災士登録があるが、資格取得への助成は行っていない。今後、地域防災計画へ位置づけるなど、資格取得への助成を検討していく。また、いばらき防災大学の受講については、開催希望を例年上げている状況であり、今後も引き続き地元開催に向けて積極的に要請していく。

【こんな質問もありました】

① 通学路のブロック塀の安全性確保について

② 水道事業ビジョンについて

ここが知りたい！ 一般質問

Q オリンピック開催に向けた
鹿嶋市の認識と状況は

河津

市としては、来場者に楽しんでいただくようなことを考えるのか。また市民にオリンピックを迎えてよかったと思ってもらうためにはどうするのか。そして具体的に残そうとする施設はどのようなものなのか尋ねる。

A 市全体で大会を盛り上げる
ことが大会成功の鍵になる
ものと認識している

市長

本市の魅力を発信できるようなイベントや来訪者がスムーズに移動できるような環



かわつ とおる
河津 亨 議員

[発言時間= 30分]

境整備等に加え、さまざまなボランティア活動などを通じた市民・事業者・行政が一体となったおもてなし体制の構築等、オール鹿嶋で大会を盛り上げていくことが大会の成功の鍵になるものと認識している。

政策企画部長

オリンピックの機運醸成のための2年前イベントの開催や各地区まちづくり委員会で構成されている連絡協議会の中で、「オリンピックに向けて市民が参加できるプログラムを考える」をテーマに研修会や講座がスタートしている。これらオリンピック関連のイベントや事業を通じて可能な限り多くの市民に何らかの形でオリンピックに参加してもらい、その活動を通じて達成感を味わってもらおうことが、結果として一人ひとりの満足感につながっていくものと考えている。残そうとする施設については、駅前広場のバリアフリー化、バス、タクシー待合所や通路の屋根のリニューアルなどの整備を検討している。また来訪者のための施設として、多言語に対応した観光案内サインなどの整備を検討している。

Q 市として国や県に交通渋滞
の具体的な改善策や要望
などしているのか

河津

オリンピック開催に向けて、国や県に市の交通渋滞状況をどのように伝えているのか。またその対策のアイデアなどは出しているのか尋ねる。

A 道路インフラ整備と渋滞緩和
の実現に向けて最善を
尽くしている

都市整備部長

オリンピックに向けた国への働きかけと県道の整備促進については、県知事をはじめ国交省や地方整備局などに対して国道51号バイパスの4車線化の早期整備について要望を重ねてきたところである。また、新神宮橋については、本年2月から工事に着手するなど具体的に動き出している状況である。これらの道路インフラ整備と渋滞緩和に向けて国や県に対し早期に実現するよう市として最善を尽くしている。

ここが知りたい！ 一般質問



しのか つか 篠塚 洋三 議員
〔発言時間＝30分〕



Q 土日などの休校日に学校を高齢者や子どもたちのたまり場として活用してはどうか

篠塚 私たちは命の大切さ、生きていくことに感謝する心が大切であり、私はそのことを高齢者が子どもたちに伝え、将来に希望と夢を持たせるためのまちづくりが、今必要であると考え、そこで土日などの休校日に学校を活用し、高齢者・子どもたちのたまり場やふれあいの場をつくってはどうかと思うが、市の考えを伺う。

A 学校教育に支障のない範囲で多目的な利活用ができるよう地域の皆さんと研究する

教育長 学校は子どもたちの学び舎で、原風景を共有する心よりどころであり、愛着の持てるコミュニケーション施設でもある。そのため学校教育施設のグラウンド・体育館等は地域に開放し、また児童クラブ・放課後こども教室事業など多面的に活用している。引き続き学校教育に支障のない範囲で多目的な利活用ができるよう地域の皆さんと研究していきたい。

Q 国体、オリンピック開催を契機に感謝の心を育む教育方針を伺う

篠塚 本市は国体・オリンピック開催を控えている。この大きなイベントを迎えるに当たり、感謝の心を育むソフト面での教育が必要と思うが、市の考えを伺う。

A 国体・プレ大会で感謝のメッセージやおもてなし料理を用意

教育長 学校教育において感謝の心の醸成は、すべての教

育活動の基本である。現在小中学校の取り組みとして、お世話になった人に送るありがとうメッセージを行っている。国体やプレ大会では、感謝のメッセージや地元食材を使ったおもてなしを用意している。国外の方が訪れるオリンピックは、感謝の心を育む絶好の機会と捉え、全ての教育を通してその取り組みを展開していく。



ここが知りたい！ 一般質問



たちばら ひろいち
立原 弘一 議員

(発言時間= 90分)

Q 西日本豪雨災害から学ぶことは。豪雨災害に対するシミュレーションはできているのか

立原 西日本の豪雨災害では大変な洪水が発生し、多くの方が亡くなられた。今年鹿嶋市も台風が2度直撃する危険に見舞われたが、微妙にそれたからよかったとは言っていられない。西日本豪雨から学ぶべきは何かを考えたとき、極端な例ではあるが、鹿嶋市において時間100ミリ連続降雨が起きた場合の危険性についてどのように認識しているか。

A 危険個所の災害対策を再確認するよう指示

市長

西日本災害豪雨に関し、市では家屋被害認定調査支援として広島県に職員1名を派遣し、業務支援と現地被害の状況報告を受けた。本市においても北浦沿岸や急傾斜地など危険個所における災害対策の再確認を行うよう指示した。今後は、想定を超える豪雨が非常に身近になってしまっているという危機感を持って、防災力の強化に努めたい。

A 現時点で、業務範囲の拡大の考えはない

健康福祉部長

社会福祉協議会の非常勤職員である地域福祉推進委員は、一人暮らし高齢者世帯を訪問し見守り活動を行うとともに、援護が必要であれば（地域包括支援センターなどの）関係機関に情報を提供し適切な福祉サービスにつなげる鹿嶋市独自の制度である。業務範囲の拡大については高齢者の増加、人材確保、職種の専門性など簡単に判断できかねる問題が多いことから、現時点では考えていない。しかし、増加する高齢者の支援が必要であることから、市と社会福祉協議会にそれぞれ生活支援コーディネーターを配置し、地域の生活支援体制整備事業を進めており、関係者・関係機関と適切な支援に努めていく。

Q 介護問題とも関係する地域福祉推進委員の役割の拡大はできないか

立原

介護保険に関する問題でもあるが、地域福祉推進委員は重要な役割を担っていると再認識した。私の知人の高齢者も地域福祉推進委員の支援で、福祉サービスにつながった方が何人かいる。地域福祉推進委員の役割をさらに拡大し、強めることができないのか。



—鹿嶋っ子の夢、
応援しています—

きかせて！
あなたの夢



大同西小学校6年
滝 たき あかり あかり 丹里さん

私の夢は、サメの飼育
量が日本一である大洗ア
クワールドのサメの飼
育員になることです。
サメの飼育員になりた
いと思っただきっかけは、
幼いころから、家族で水
族館によく行っていたこ
とや2年前に下津・平井
海岸に、サメが出たこと
をニュースで知り、サメ
に興味を持ちました。

姿勢がよく、背筋がピン
と伸びた丹里さん、希望に
満ちた笑顔が頼もしく、「鹿
嶋の宝」だと感じました。
(栗林・笹沼)

をしました。
その他にもいろいろな
魚についても詳しくなり
たいと思っっているので、
今は、その夢に向かって、
水産大学に入れるように
勉強をがんばっていきたく
いです。

議 会 T O P I C S

清真学園高校との 意見交換会を開催

10/9
火

鹿嶋市議会では、高校生に市政や市議会について関心を持ってもらおうと、10月9日、高校生との意見交換会を開催しました。清真学園高校の2年生約80人が参加し、「オリンピック開催を契機とする『まちづくり』」をテーマに語り合いました。

生徒の1人は「観客を迎えるに当たり公共交通のさらなる整備が必要。市内の交通渋滞の緩和につながる」など、要望を次々と挙げてくれました。

若い人のアイデアや思いきった発想が、少しでも議会



政策について
熱く語る生徒

運営に反映できるように、市議会議員一丸となってがんばっていきたいと思います。



参加してくれた生徒さんたちと記念撮影

<広報広聴委員会>

委員長 副委員長
委員 委員 委員 委員 委員 委員

小池 みよ子
樋口 池
河津 亨
栗林 京
菅谷 毅
川井 子
小松 弘
笹沼 康弘

夏の最中に鉢形ジュニア新体操クラブの取材に行ってきた。背筋をピンと伸ばしてスツと歩く姿には、練習の成果を見ることが出来ます。小さいころに身につけた姿勢は、そのお子様の大きな財産となることでしょう。練習を見学させていただいてさわやかな風が吹き抜けたひと時でした。オリンピックの新体操選手が出るのいいな。

編集後記

議会報告会を開催します！

日にち：11月25日（日）

◆鹿島地区 10:00～12:00
(鹿嶋市役所 3階会議室)

◆大野地区 14:00～16:00
(大野ふれあいセンター 2階会議室)